

自分の身の丈にあったブログを 日々安定して書いて信用を得る方法



Photo by David Blackwell.

こんにちは、マンガードの森内です。

この無料レポートは、つまるところ、ブログをラクに書く方法です。

(但し相応の努力が前提です)

ウケるブログを書く方法でも、アクセスアップの方法でもありません。

もっと根本的な、「書く」こと自体へのアドバイスです。

根性で書き始めてガス欠になる人が多いので、僕の体験も踏まえてコツを説明します。

お役に立てれば幸いです。

ブログ <http://ameblo.jp/designdog/>

メールマガジン <http://archive.mag2.com/0001177350/index.html>

■はじめに

「書く」という行為は、前提です。

「書く」スキルを差し置いて、ネット上での活動は難しい。

安定して書く行為は、根性論に受け止められがちです。

確かにそれもあるのですが、大部分は仕組みで賄えます。

日々のモチベーションすら、仕組みの産物だったりします。

「書く仕組み」を知らない人は、根性を消費しながら書きます。

ガス欠の未来が透けてみえます。

事実、毎月多くの方がブログ更新にむなしさを感じて辞めていきます。

辞めていく中には、ブログでの商売のやり方を解説するブログもあります。

それらしい事を書いてるんですよ。でも、続かない。

日々書くというスキルは、マーケティング以前の前提条件です。

これについてのアドバイスは、以外と少ない。

僕(筆者 森内太平)は、2010年の8月にメルマガとブログを立ち上げて、

今日まで毎日更新しています。

記事の品質は、このレポートをお読みの方にはご存じの方も多と思いますが、

そこそこの品質で、日々更新しています。

一部のアフィエーターのように、華々しい収入を得ているわけではありません。

ブログを通じたアフィリエイト収入は、高校生の小遣いに毛が生えた程度です。

あくまで、実業の窓口としてネットメディアと付き合っています。

小規模ですが、ブログを通じて信用を積み上げてきた自信があります。

ですから、本稿のアドバイスは「ネットで儲ける方法」ではありません。

自分の身の丈にあったブログを、日々安定して書いて信用を得る方法です。

あくまでも安定して、ブログをラクに、相応の品質で書く方法です。

その方法は至って普通で、特別なものではありません。

やるべき事をやれば、然るべき結果が出るだけです。

そこから先は、アクセス数アップ等、お望みの方法でブログを伸ばすと宜しいでしょう。

本稿は書くスキルの案内にすぎません。

でもそれはきつと、あなたのネット上での活動を、格段にラクにするはずです。

■メルマガを書き始めた当時の森内

僕が毎日書くことを決めたのは、事業上の目的があったからです。
また、今後何をやるにしても、品質を伴う発信実績は役に経ちますし、
時間が経過するほどに有利になると考えました。

例えば、「品質を伴う情報発信を、毎日休まずに3年間」もやれば、
それをやる人は少ないですから、目立ちます。
ライバルは、時間と共に脱落していく。
他所と競争する必要はありません。自分の努力だけで手に入る結果です。
また、継続の難しさと価値が分かる人にとっては、信用の材料になります。

縁したい人と縁するには、相応の資格が必要。
僕にはコネが無い。人脈を作ってきた人生でも無い。
だから僕の場合、日々の発信で信用の基盤を作りたかったのです。

決めたら、あとはやるだけ。
しかし、最初は何をしたらいいのかわかりませんでした。
なので、ネット起業の本を読んで参考にしました。
その次に、属性の似た大手のメルマガを3誌ほど選んで、毎日読むようにしました。
メルマガの体裁はパクりました。文体は、お気に入りのサイトからパクりました。

次に、ネタ帳を用意しました。
1行1ネタで、企画に沿った事柄を2~30行ほど書き出しました。
2010年8月から準備を始めたネタ帳の冒頭は、こんな感じです↓

◆皆さん言わないんですよ、「成り行きで今の会社に決まった」って。
アレですか、同僚も先輩も上司もみーんな、青雲の志とやらで、
大志を実現するために今の会社に来たんですかね。
んなわけないじゃん、と思います。
諸事情や偶然や縁故や運命で決まった今の職場に、
どうやって自分の夢(自己実現)や遣り甲斐を乗せるか、
どう自分の才能を開花させるかを探求するところに、
組織成長のヒントがあると思うのです。

管理者が、このモチベーションの基礎工事を無視していると、若い子は仕事を覚えた後、自己都合で職場から去ります。いまどきの若いモンは3年で辞めるとか、そんなことを嘆いて、若い子を悪者にしたところで、組織が弱体化するのは変わりません。強い組織はモチベーションの基礎工事をおろそかにしません。「モチベーションの基礎工事」…このメルマガのテーマのひとつです。今後も深く掘り下げていこうと思います。

- ◆ 余剰時間を受け入れるスーパービジネスマン、余剰時間の作り方
- ◆ 資源という考え方
- ◆ 仕事は線
- ◆ やっつけ仕事でもよいのだ
- ◆ 万能スキル「スピード」 人間はなにもしないと時間いっぱい仕事をする習性がある
- ◆ 簡単利益、コストダウン
- ◆ 仕組みパワー
- ◆ 現場はポンプの吸口
- ◆ 会社が存在する理由
- ◆ 成り行きで決まった今の会社
- ◆ 自己啓発書と技術書
- ◆ 自己啓発は娯楽？
- ◆ 出来なければ意味がない
- ◆ 継続パワーを身につける方法
- ◆ イノベーション
- ◆ google の 20%ルール 余剰時間の強制創出
- ◆ 広告媒体に 24 時間仕事をさせる。
- ◆ お客様に階段を登っていただくように

……2012年3月現在でも、ファイルサイズはたったの107KB。でも、今も更新を続ける1行1ネタのテキストファイルが、コンテンツの生命線なのです。

最初は、7本程書き溜めして、メルマガ配信を始めました。その後も、何があるか分かりませんし、とにかく不安でしたから、一日2～4本のペースで書き進めて、記事のストックを増やしました。最大で、1ヶ月分の記事ストックを用意して、そこからはストックを徐々に消化していきました。

今現在は、いいかげん書くのにも慣れたので、予備として2〜3記事をストックしています。

ストックがあると、「調子の悪い日は書かない」という自由があるので、とても便利です。この点は後述します。

メルマガ開始から1週間ほどして、ブログも始めました。

内容はメルマガの転載がベースです。これで、1日1更新は稼げますからね。

記事もネタも、最初のストックなんて、あっという間に尽きてしまいます。

ネタ切れが一番怖かったので、気付いたことは、とにかくメモしました。

紙に書くのが面倒なので、携帯電話のメールで自分のPCアドレス宛てに送信するようにしました。

自宅に戻ってメールをチェックすると、ネタ用フォルダに、出先から送ったメールが入っているわけです。

さらにそれをネタ帳にコピーする繰り返しでた。

メルマガもブログも、開始から1年半以上、今もこの仕組みで動いています。

次のページからは、僕の実体験に基づいたアドバイスを紹介します。

〈一章〉 書けない構造

1、何故書けないのか？

ブログの更新が滞るほとんど唯一の原因は、モチベーション不足です。

書く動機が無いから書けないのです。

経営者やネット上で活躍するマーケッター、コンサルタントが、日々ブログを更新するのは、強い動機があるからです。

僕も含め、彼らはブログの更新が利益に影響します。

記事の品質、ブログランキングの順位、読者の数。

どれも利益に直結、手を抜けば減益。

そりゃあ、ちゃんとやりますよ。書きますよ。

「忙しくて書けない」というのはウソです。

優先順位が下がっているだけです。

優先順位を引き上げるには、動機が必要です。

「今日は書くことが無い」というのはウソです。

書くことが無い日常なんてありません。単に書くことを探さなかっただけ。

引きこもりのノートでも、日々ネットにアクセスするだけで、いくらでもネタを手に入れることができます。

特定の分野に集中したブログであれば事情は違いますが、基本的にネタ不足というのは、仕組みを整えていけば回避できます。

書くネタは、根性ではなく仕組みで得るものなのです。

後はモチベーションの問題です。

「モチベーションは無いけど毎日書きたい」

なんて欲求はナンセンスです。最初から成立しません。

ですから、あなたが最初にやるべき事は、モチベーションの確保。

次にモチベーション供給体制の整備です。

日々書くことで得られるご褒美は何か？

書くのを止めればどのような不利益が起きるのか？

これを掘り下げる必要があります。

もともと、あなたは書いていませんでした。

ですから、そこに書かないことの不利益はありません。

書くことでのメリット・利益・喜び・満足・快感等、プラス面を享受するようになって初めて、書かないことで失うモノを得る。つまり、デメリットを認識します。

あなたは何故ブログを運営するのですか？

目的無いところに、動機はありません。

【実際にやってみよう】

ブログ運営の目的を文章にする。

2、コンテンツでなければならない

日記系ブログは、更新しやすいです。

今日何をやったかを書けばいいので、どうにでもなります。

「今日は仕事が忙しかった～。朝は渋滞で遅刻寸前でした！」

しかし、難点があります。面白くないのです。

結果、周囲からの評価が得られず、モチベーションが消耗します。

自分の中から湧き出る虚しさには、抵抗できません。

虚しさを感じた時点で、その方向性は完全に間違いです。

それでもブログ更新を望むなら、早急に方向転換する必要があります。

一方、日記でありながら、面白いブログもあります。何が違うのでしょうか？

読める日記は、読者に向けたコンテンツなのです。

ひとつの出し物として、日記を書いています。

あなたのブログは、コンテンツでなければなりません。

コンテンツは、読む人に価値をもたらします。

感動、知識、考察など、読者が価値を感じる情報です。

読者に益をもたらす文章を書きましょう。

それは、あなた自身の心の動きでも構いません、読者が共感するなら、それは価値です。

あなたはブロガーとして、読者にコンテンツを提供するのです。

【実際にやってみよう】

読者に提供する情報の商品は何か？自分の分野を加味して書き出す。

知識、最新情報、感動、考察のきっかけ、ニュース、教訓など、想定する読者が喜ぶものでなければならない。

例えば、医者としてブログを運営するのであれば、読者は健康に役立つ情報を期待するだろう。

＜二章＞ 書くための仕組み、環境づくり

3、ブログを通じて何をgetしたいのかを、決める

ブログの運営を通じて得るものには下記が挙げられます。

- ・自身の成長
- ・収入
- ・仕事
- ・使命の達成
- ・読者との交流
- ・社会的な地位、評価
- ・出会い

他にもあるかもしれませんが、何にせよ、あなたにとってのメリットです。

友達や親戚のおばさんから「すごいわねえ～」と言われるのも、あなたにとってのメリットです。

社会的使命や役割の為に、ストックに発信するのも構いませんが、自分の得になる要素が無いと流石にしんどいです。

自分が欲しいメリットを得られない限り、ブログ運営は長続きしません。

あなたが欲しい結果は何ですか？紙に書き出すなり、赤ペンで丸を付けるなりして、自分の中で明確にしてください。

あなたは、メリットを得るためにブログを運営するのです。

【実際にやってみよう】

ブログの運営により、自分が得たい結果をリストアップする。
複数項目ある場合は、優先順位を決める。

4、何を書くかを、決める

目的を実現するために、何を書くかを決めましょう。

アメブロで言えば「記事テーマ」です。

記事テーマがいくつもあるのに、テーマへの投稿数が 0 件のブログを見たことはありませんか？

これは、目的に基づいて、最初にブログの構成を決めているのです。

目的があり、達成の為の手段がある、その仕様に従って、予定通りに行動しましょう。

最初に書くテーマを決めましょう。

- ・ 仕事の話・ニュースを見て感じたこと
- ・ お勧めブログの紹介・感動した話・ペット観察日記 etc.

あなたの業態、趣味、方針によってテーマは異なります。

あなたが欲しい結果を得るためには、どんな内容の記事を書けば良いのでしょうか？

まずは 3~4 項目テーマを決めてみましょう。

【実際にやってみよう】

テーマを決定する。開始当初は 3~4 項目を準備する。

各テーマは具体的な内容であること。

5、何を書かないかを、決める

この項は、商業ブログで無い場合は、読み飛ばしても構いません。

書くことを決めたのなら、書かない事を決めることもできます。

特に商業目的でブログを展開する場合は、信用構築やブランディングの邪魔になる情報もあります。

Twitter をするミュージシャンは、ファンに飽きられる傾向があり、キャリアが短命である……そんなイギリスの調査があります。

<http://jp.reuters.com/article/mostViewedNews/idJPJAPAN-21112820110516>

ミュージシャンほどデリケートではありませんが、中小企業の世界で言えば「株を下げる」情報発信があります。

どんな情報が自分の株を下げるのかは、ご自身で判断ください。

労務知識を期待して来た読者に、毎日晚ご飯の写真を見せるのは適切かどうか。

価値のない情報は、価値のある情報の邪魔をするノイズになり得ます。

純化路線が常に良いとは限りませんが、ノイズの混入はコントロールすべきです。

【実際にやってみよう】

書かない内容を決定する。これは特に明文化しなくてもよい。

例えば、プライバシーを憶測させる記事をなるべく書かない、など。

また、運営上のアクセントになる場合もあるので、常に禁止するわけではない。

6、情報の摂取源を決める

特定のメルマガ、巡回するサイト・ブログ、TV番組、読む雑誌や新聞等、ブログの記事を書くために有用な情報ソースを選定して、定期的に情報を摂取しましょう。

ブログで書くテーマをあらかじめ決めていけば、どんな情報を仕入れればネタになるのかが分かります。

たまたま、自分で思いつくネタがあれば、それを書けば済みますし、なければネタ元から情報を引っ張れば良いのです。

何となく雑誌を読むのと、ブログのネタを意識して読むのとでは、情報摂取の質が異なります。

専門家としての情報発信など、特殊な情報を発信したければ、業界紙などの特殊な媒体と読みます。

情報の入力がなくして、出力はできません。

ブログテーマに即して、常に新しい情報が手元に来る環境を整えれば、ネタ切れは起こりません。

実のところ、常にネタを探すという強いモチベーションがあれば、情報摂取のために特別に活動する必要すらありません。

日々の暮らしからでもブログの為のネタは得られます。

しかし、ちょっとした情報や気づきを記事に膨らませるには、慣れが必要です。

基本的に、ブログ更新に必要な情報を、日々摂取することをお勧めします。

【実際にやってみよう】

ブックマークの整理、受信メルマガの選定、ネタになる雑誌等の管理。

7、書く時間帯を決める

ブログはなるべく、時間帯を決めて書きましょう。

これは、コピーライターの基本でもあります。

自分の書きやすい時間に書くのが、一番効率がよく、負担が少ないからです。

あなたの生活のリズムにもよりますが、午前中(朝)は文章を書く時間帯としてお勧めです。文章を書くのに、調子の良い時間帯、そうでない時間帯の差は大きく、効率が数倍変わります。

書く時間帯によっては、15分で書ける文章が、1時間近く掛かる場合もあります。

自分にとって、なるべくラクな時間帯を使い、日々の負担を最小限にしましょう。

書くのに疲労すると、モチベーションが下がってしまいます。

【実際にやってみよう】

生活時間を調整して、空き時間を作る。最初は朝を推奨。

森内の場合、毎日午前中にブログやメルマガ等の更新を完了する。

ブログを複数回投稿する場合は、空き時間を活用している。

<三章> 書くための活動

8、体調や気分の良い時に書く、調子が悪い時は書かない

体調や気分が悪い時には、書かない方が賢明です。

書くのに辛い思いをすると、脳が書くことを苦痛と覚えてしまうからです。

調子の良いときに記事を書きためる等して、辛ければ書かずに済むようにしましょう。

また、動画紹介やサイト紹介など、頭を使わなくても更新が出来るネタがあります。

普段からネタのストックがあれば、必要以上に自分を追い詰めずに更新が持続できます。

ただでさえ、慣れないうちは書くのに負担が掛かりますから、辛い思い出を作らないよう、

自分に優しい仕込みをお勧めします。

例えば、頭に負担が掛からない書き方として……

- ・映像の紹介・サイトの紹介

- ・ニュースの紹介・製品やサービスの紹介が挙げられます。

これらを紹介して、軽く感想を書く分には、ほとんど頭を使わずに済みます。

僕の場合、全く頭が働かない時のため、忙しくて原稿が書きにくい時の為に、完成記事を数本ストックしています。

【実際にやってみよう】

記事ストック、ネタストック用のフォルダやブックマークを整備する。

特に動画のブックマークは手軽だがブログとは相性が良い。

9、常にメモする

思いついたネタを書き留める為の、メモ帳を持ち歩きましょう。

人が思い浮かべる思考は、1日6~10万回と言われます。

本来思いつきや、すぐに消える記憶を適切に記録すれば、ネタ切れなど起きません。

ライターや小説家、漫画家が常にネタ帳を持ち歩いているのは、すぐに忘れてしまう思いつきを保護するためです。

彼らは、アイデア（思いつき）を定期的に、納期内に生産します。

業務として、自身の思いつきをコントロールしているのです。

メモ帳の持ち歩きが厳しい場合は、携帯電話の利用をお勧めします。

ネタは一回1行の単文で十分です。

何について書くのかさえ決まれば、記事を書くことができます。

【実際にやってみよう】

ネタ用のメモ帳・手帳を買う。常に携帯して運用する。

10、体裁を真似る

気に入った作家やブロガーの文体は、真似ても構いません。
書き方、文体のスタイルが決まっていれば、書くのがずっとラクになります。
そもそも、文体を精緻に真似ること自体、簡単ではありません。
通常、素人が真似たところで、真似らしい真似になりません。
継続していれば、自分の個性が加わり、やがてオリジナルに昇華されます。
真似ることに、必要以上の抵抗感を抱く必要はありません。

【実際にやってみよう】

実際に真似て書く。実践すること。
ちなみに、森内の文体は、小説家 A の文体に影響された、テキストサイト管理者 B の文体に影響されている。
つまり小説家 A の孫的な影響を受けているが、小説家 A とは全く文体が異なる。

11、たくさん書く

文章は練習の産物です。ラクにサクサク書きたければ、量稽古をこなすことです。
日々書けば、イヤでも文章力は上がります。
ちなみに、本稿の全文章、ここまで書くのに半日程度です。
(全て書いた後の編集工程は別ですが……………)
練習を重ねれば、これくらい出来るようになります。
ラクになりたければ、とにかく書きましょう。

【実際にやってみよう】

毎日更新する。まずは 1 週間、30 日続けば慣れる。書けば書くほどラクになる。

12、書きやすい道具を使う

日本語入力環境は、OS の標準装備ではなく、ATOK もしくは、Google 日本語入力を導入しましょう。可能な限り、自分が快適に入力できるように工夫します。

ATOK <http://www.atok.com/>

Google 日本語入力 <http://www.google.com/intl/ja/ime/>

モニターやキーボードも書くための道具ですから、自分の身体にフィットしたものを使うべきです。

特に、椅子は良いものを使いましょう。

ホームセンターに売ってある数千円の椅子は避けた方が無難です。

通販ではなく可能な限り試用して、姿勢を良好に保つ椅子をお勧めします。

【実際にやってみよう】

無料の Google 日本語入力を導入する。ATOK は有料だが、より高性能。

13、書く環境を用意する

自分にとって快適に書ける環境を 3～4 箇所用意しておきましょう。

自宅や職場以外では、カフェ、ファミレス、ホテル、ネット喫茶等があります。

車中で書く方も、いるかもしれません。

快適な環境は個人によって異なりますが、まずは身近なカフェで執筆を試してみても如何でしょうか。

煮詰まった場合、ストレスが溜まっている場合には、特に効果があります。

【実際にやってみよう】

近所のカフェから、実際にブログ更新を行う。

おわりに

ここまでの全 13 項目、全てやれば誰だって、ラクにブログが書けるようになります。書いてあることは、どれも当たり前のことだからです。然るべく準備をして、然るべく努力をするだけです。モチベーションがあるにも関わらず、書くのが辛い、ネタが浮かばない方は、大抵ここまでの 13 項目のどれかに抜けがあります。

やることが分かれば、あとはやるだけ。行動には何が必要？モチベーション（動機）です。なによりも一番ありがちなのが、モチベーションの不足です。モチベーションの補給は仕組みである程度フォローできますが、一番最初に体を動かすのは、あなた自身の目的意識です。

自分が何故ブログをやるのか、何が欲しいのか。分かっていない人から、脱落します。ブログ運営は完全に自分の裁量です。やる気が全てです。

まずは、方針を決め、自分の意図通りに文章を書くこと。ブログのアクセスアップは、その後の話です。

面倒臭がらずに準備を進めましょう。環境整備を面倒に思う気持ちは分かりますが、後で袋小路に入るよりも、よほどマシです。ここまでの準備や活動のアドバイスには、多少手を抜いても大丈夫なモノもあります。しかし、最初は忠実に 13 項目をこなしましょう。日々の更新をやり続ければ、やがて手を抜いても構わない部分が見えてきます。

これらの努力を経ずに、品質の高い記事を安定して更新したければ、あなたではなく、部下ライターに任せることです。

自分の欲しい結果の為に、必要な努力を始めましょう。ありがとうございました。

<奥付>

自分の身の丈にあったブログを日々安定して書いて信用を得る方法

著者：森内太平（マンガード）

森内太平（もりうちたいへい）プロフィール

2010年マンガード設立。マーケティング知識を生かし、広告・映像制作の分野で起業家・経営者を支援する、企画デザイナー兼映像プロデューサー。起業志望者・経営者の為の経営戦略コンサルティングも行う。メールマガジン「ビジネス戦略の基礎力」は、発行部数1万部。

ブログ <http://ameblo.jp/designdog/>

メールマガジン <http://archive.mag2.com/0001177350/index.html>

ホームページ <http://www.digitalsignage-kure.jp/>